

は、一體幾才位になつたらば發達するのであるかを考へたらば余程面白い事であらうと思はれる。恐らくかゝる事もしくは美衣を愛するとか、又は最も幼稚な場合は例外としても、已に述べた如きすべての美なものを愛する情が青年になる前に現はれる如き事は到底豫期する事は困難である。

(つづく)

## 『子供展覧會』に就て

倉 橋 生

此頃世の中に行はれ出した、子供に關する新事實は子供展覧會といふものである。或は『あかん坊展覧會』或は『子供大會』等の名稱の下に行はれて、大に世の新しい注意を促して居る。その目的は兒童養育の獎勵にあつて、遠い目的としては國民の健康増進の一手段といふことである。即ち時を期し、會場をさだめて、多勢の父母がその愛兒を連れて集る。専門家諸君が審査員となつて

その子供等の健康を審査する。等級が附せられる優等なるものに賞が與へられる。斯くして、我子の健康についての注意が親達の間に喚起せられ、又兒童の養育上の知識を與へらるゝといふにある。私の思ふに、此の會が催さるゝ、此の主旨に就て、何人も不賛成のものはあるまい。「世の親達に我子の養育に就て一層注意せしめる」、誰れとて此主旨に不同意のものがあらう筈はない。私とても勿論大に賛成である。

しかしながら、此種の會の催さるゝことに就ては、遺憾ながら私は同意をもつことが出来ない。而して、私が同意なると否とは、此の會の主催者諸君及賛同者諸君にとつて、何等の關係もないことであるかも知れないが、事は我國の子供のことに關する。思ふ所を述べずには居られない氣がするのである。殊に此の種の會は、近頃行はれ、又行はれんとして居るのが第一回で、以後また再び行はれる計畫のあるといふことを聞いて居る。將

來の爲にも一言して置かざるを得ない氣がするのである。

私が斯ういふ催に同意しがたい理由は、どちらかといへば理よりも氣分が先に立つて居る。即ち一言にいへば、私自身の兒童觀及び父母觀が、どうも斯ういふ方法で斯ういふことをするのを愉快とし難いのである。其の結果から言つて、兎に角、此の主母の爲に有効であり得るとしても、何となく、より以上貴重なる或ものが犠牲に供されて居る怖れはないかといふ不快を除き得ないのである。

私は此の氣分を分解して、次の如き數箇條を得るのである。

一、親が我子の養育に注意するといふことは、斯ういふ外的獎勵によつて喚起せらるべき性質のものではない。少くも、斯ういふ方法を以て、我子に對する當然の責任と愛情とを刺戟せられるといふことは、親たるものにとつて侮辱といはな

ければならない。勿論斯ういふ會の主催者諸君と雖も、賞や名譽を得たさに我子の養育に注意するといふ様な、親として此上もなく恥しい親の存在を假定だにして居られる譯でもあるまい。しかし、懸賞による獎勵といふ様な低級な手段に結びつけられといふことは、親の道の尊嚴を辱むるものといはざるを得ない。

二、子供は假令一歳の該兒といへども、人としての尊嚴を有するものである。如何なる理由のもとにも多數他人の鑑賞の具にせらるべきものではないのは勿論、之れに似たる取扱ひをも與へらるべきものではない。即ち私は兒童に對する此の當然の尊敬の情よりして、あかん坊展覽會といふ如き名稱を聞くだに堪え得ないのである。殊にそういふ取扱を拒むことの出来ない年齢にある子供の尊嚴を多少でも冒すことは、私達成人の非常なる罪惡の様な氣さへするのである。元來愛玩鑑賞を目的とせる犬や猫ならば、之れを多數の鑑賞の前

に誇り得るごとく飼育したことを誇りとし得るものであらう。併しそれと似よりたる取扱ひを人の子に與ふべきものではあるまいと思ふのである。

三、私は斯ういふ企てが、親たる尊嚴に於て常人の標準に達し得ないもの、多い貧民社會等に於て行はれたならば、初めて條理ある計畫といひ得ることと思ふ、中流以上の家庭、殊に一圓の會費を以て日曜の午後半日を此の會に集り得る如き餘裕ある家庭の爲には、他の一層本來的な方法、即ち教育的方法によつて、我子の養育の注意を促進することが出来る筈である。少くも之等の家庭は此の種の會の様な方法によらなければならぬ程低級のものではないと思ふ。私は出来ることならば、折角の計畫を、そのまゝ、鯨か橋とか、萬年町とかの貧民街へ持つてゆかれて、説話による教育だけでは注意を促し難い、彼等無智なる家庭を教めるの具に供して貰ひ度かつたと思ふ。殊に此の會の主旨の一つとして、専門家の診斷を乞うて、つひ

心づかずに居た我子の健康上の缺點を知り得るといふ利も數へられて居るようであるが、その必要は、我子の養育に大なる自信を以て此會へ出品しようとする程の家庭に於ては、實は、そんなに存すべき筈のものではない。それが大にあるようならば可笑しい矛盾である。而して貧民街の家庭に於て、此の種の必要が實に絶對的に大であることはいふ迄もない。

四、私はまた、斯ういふ骨の折れる企を立て、まで我國の兒童の健康に注意され、國民將來の健康を懸念せらるゝ主催者賛同者諸君に是非願ひ度いことがある。それは他でもない、斯ういふことを盛大なる集會としてせらるゝよりも、『兒童健康相談所』ともいふべき機關を常設して、我子を専門の小兒科病院などへ容易につれてゆくことの出来ない親達の爲に、常時的相談相手となつてやつて下さつたらといふことである。此の事は今日初めて思ひついた譯でもなく、歐洲の例などで、是非

欲しいことに豫て思つて居たのであるが、丁度同じように兒童の健康問題を顧慮せらるゝ同志諸君の此の舉を見るにつけて、是非共お願ひし度いものと思ふのである。

以上縷々。若し夫れ單に子供すき連の趣味の會といふだけのことならば、こんなに真面目に彼之と考へる方が野暮の至りと笑はるゝであらう。しかし、此の種の會の關係者諸君の中には、我國の兒童のために、常に尊敬すべき權威者の位置に立たるゝ人々が多い。私は世間の子供道樂者が、面白半分寄り集つて打ち興じて居るようなことと同視することは出来ないのである。殊に私の知れる若き愛兒家達の中に、此の種の會に就て、一通り贊成のような、しかも心の何處かに惑ふような感じを有して居る人が少くない。一方には其の人々に私の考へを參考に供すると共に、我國の兒童及び家庭の尊嚴のために、思ふ所を一言公にして置くことを禁じ得ないのである。

## 大道玩具の研究

淺草公園にて

K T 生

淺草公園は私の家から程遠くないので閑暇な時にはよく遊びに行つて見る。淺草公園は理窟抜きにして面白い所であると同時に社會觀察の好資料を我々に惜氣も無く提供して呉れる寶庫である。

倉橋先生にヒントを與へられて大道玩具研究と出掛けると平常は餘り氣が附かなかつた玩具屋が多いこと多いこと。兎ても一度や二度の觀察では要領を得さうにもない。そこで先づ第一着手として觀音堂の階段下から仁王門に至る三十間許の石甃の兩側に軒を並べた露肆の玩具を見て歩かう、  
▼單線自働獨樂 一寸許の鉛製の獨樂であるが今までの獨樂とは少し毛色の違つた複雑なもの、烏打帽を被つた人が俯向いて水平に廻轉する車を抱いてゐる、そして足の先には垂直に廻轉する車が